

前衆議院議員 はせ 浩 国政報告

はせ通信

発行所 はせ浩連合後援会事務所(自民党石川県衆議院支部)
事務所 〒920-8203 金沢市鞍月5-181 AUBEビル5階
TEL 076-239-1919/FAX 076-239-1920

vol.79

新時代 動かせ石川

馳
浩



今求められているのは、新しい時代を切り開く挑戦。新しい価値の創造。まさに「**県政刷新**」。

私は、国会議員が自らつくる議員立法37本を成立させ、文部科学大臣という行政トップの経験を通じて明治維新以来初めての中央官庁（文化庁）の京都移転、また国立工芸館の石川移転を成し遂げました。

そこで得た**私の政治手法**は、多様な利害関係者を結集し、粘り強い意見調整と取りまとめを実行し、まさにチームの力で成果を上げる手法です。

行政は、縦割りでは限界があります。部局横断型、プロジェクト型、プラットフォーム型に行政組織を臨機応変に再構築し、職員の専門性やネットワーク力、そして民間の人材も活用し、自由闊達な意見が職員から上がってくる進取の気風・風通しの良い環境を作り、県民サービス（豊かさ）の向上につなげる必要があります。

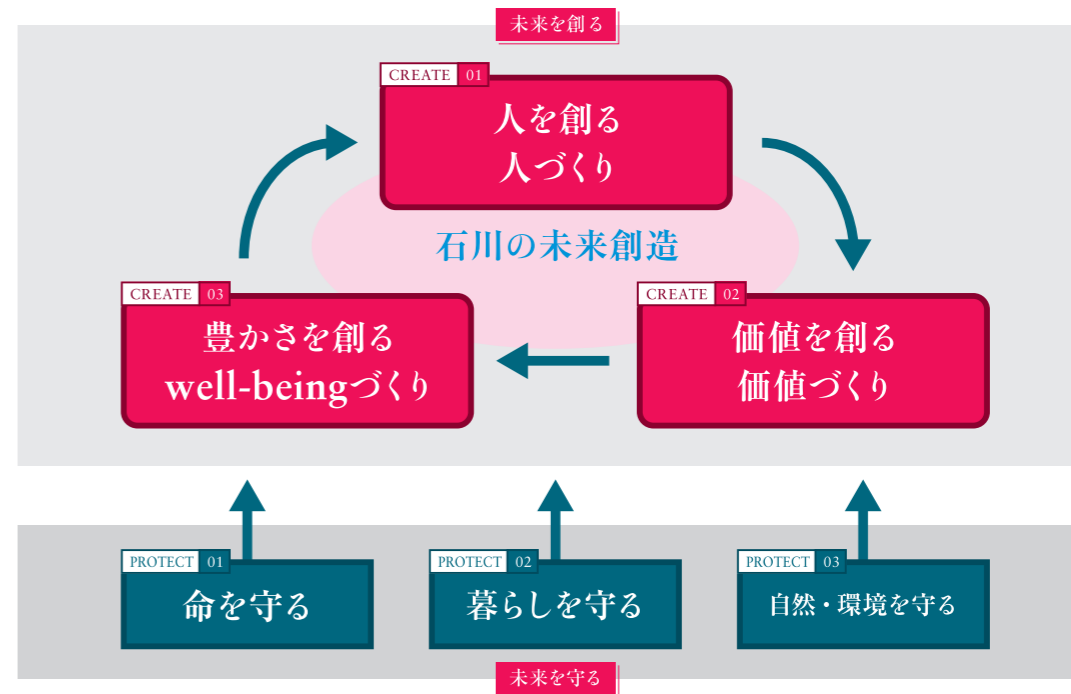
政治は、県民・市民のものです。自治体職員は県民・市民目線で県民・市民に寄り添うという**政治の原点**を指標に仕事を進めます。

また、19の市町に対して県は「待ちの姿勢」よりも「積極支援の姿勢」が必要です。国の事業に対しても「待ちの姿勢」ではいけません。わが県に相応しい先進的モデル事業を率先して社会実装化し、他府県の範となり、我が国の成長に貢献すべきです（国のモデル事業→石川県で実装→全国に展開）。

誰もが**挑戦の機会**に恵まれ、失敗しても再起を目指すことができる社会にしたい。また、何よりも安全で安心な生活が保障される、県民一人一人が生き甲斐のある**真の豊かさ（well-being）**を実感できる未来創造の実現の先頭に立っていきたいと考えます。

そこで私は、先人が磨き上げてきた石川の個性・魅力・基盤を継承し、さらに発展させます。オール石川の「**石川県成長戦略会議**」を創り、県と国、県と市町、県民一人一人とのつながりを大切に、「**ふるさと石川**」の暮らしやすさの向上を目指します。国会議員時代に手がけた政策を県内で具現化させていきます。

幸福度（Well-being）^{ウェル} ^{ビーイング} 日本一〈石川〉 石川の未来創造 3つを創り、3つを守る



何よりもまず**人**を創ります。その人が**価値**を創り、社会に**豊かさ**をもたらします。豊かさは、身体的・精神的・社会的に良好な・満たされた状態＝**well-being（ウェルビーイング）**を指す主観も含めた人の総合的**幸福度**。この「well-beingづくり」こそ究極の政策目標。豊かさはさらに人を創りあげる。この3つの好循環が未来を創る。そして、未来を創るためには、命、暮らし、自然・環境。この3つが守られた未来の土台が不可欠。そのため、「**SDGs推進室**」を創ります。

県土DX (デジタルトランスフォーメーション)

DX・プラン

- 行政のデジタル化
- 都市のDX (スマートシティ化)
- 能登のDX (遠隔医療・スマート農林水産・自動運転等)

“DX立県”日本一をめざします!

キーワードは“創造的過疎”
※過疎を活用して人づくり価値づくりを図る

社会インフラ

リストラクチャー・プラン

- 北陸新幹線・金沢以西の建設促進と開業効果の全県波及
- 小松空港の新滑走路建設 / 空港周辺で北陸の一大拠点づくり
小松空港の民営化 / 3空港 (小松・のと里山・富山) の価値共創 (連携相乗効果)
- 金沢・都心軸新交通システム
- カーボンニュートラルポート (港) 構想

陸・海・空インフラの再構築 (リストラクチャー)

教育・文化

イノベーション・プラン

- 高等教育機関・官・民・金融学術都市構想
- 特色ある公立高校づくり (情報・STEAM教育の推進)
- 尊経閣文庫の知事公舎誘致と周辺緑地化

環状道路が作る“金沢学術都市”構想

※STEAMとは科学・技術・エンジニア・芸術・数学の略

新しい風が新しい石川を創る

馳プラン10 (地域別にみると)



県土全域

- 行政のデジタル化
- 都市のDX (スマートシティ化)
- 北陸新幹線・金沢以西開業効果の全県波及

能登

- 能登DX (データセンター・ローカル5G基地局整備)
- カーボンニュートラルポート〈七尾港〉
- 3空港の価値共創 (のと里山空港)
- 特色ある公立高校づくり in 能登

加賀

- 小松空港・新滑走路の建設
小松空港の民営化
空港周辺で北陸の一大拠点づくり
- 3空港の価値共創 (小松空港)
- 特色ある公立高校づくり in 加賀

金沢

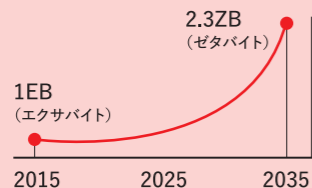
- 高等教育機関・官・民・金融学術都市構想
- 都心軸新交通システム
- 尊経閣文庫の知事公舎誘致と周辺緑地化
- カーボンニュートラルポート〈金沢港〉

能登DX (デジタル・トランスフォーメーション)

— 岸田内閣「デジタル田園都市国家構想」の実現 —

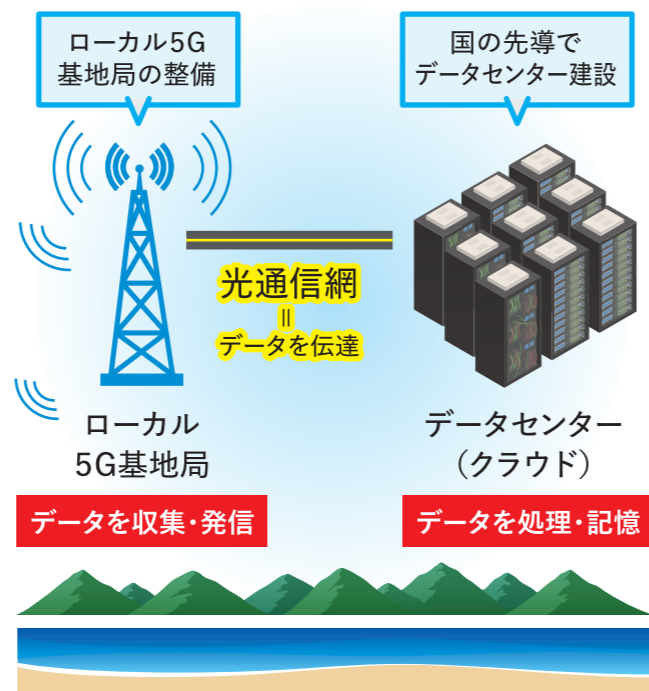
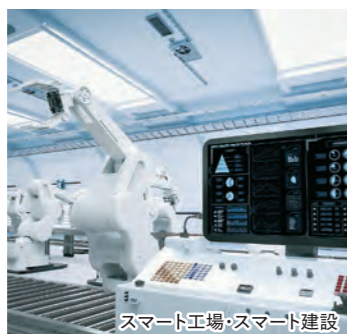
- 高齢化・人手不足に悩む地方の課題解決へ
自動運転／遠隔医療／スマート農業・建設など
- 県が主体となったローカル5Gこそが決め手

デジタル社会では
データは爆発的に増加



20年で
2,450倍

例えば...
自動運転車1台にあたり1日
1,000Gバイト(映画1000本分)
もの情報を収集



尊経閣文庫を知事公舎へ誘致(一般公開)

※加賀前田家の古典文庫(図書館)。国宝22件をはじめ日本では群を抜いた書籍・文書類が。

・社会福社会館・県立図書館 移転後跡地の **緑地帯化**

世界に冠たる“文化と緑の聖地”の完成

- あえて何もつからない。緑地化が創り出す“石垣借景の景観美”
- 歌劇座を“芸術の殿堂”に(金沢美大・音楽学部の創部・誘致に県も協力)
- 本多の森(工芸館・県美)との回遊性を高める(エスカレーター化)



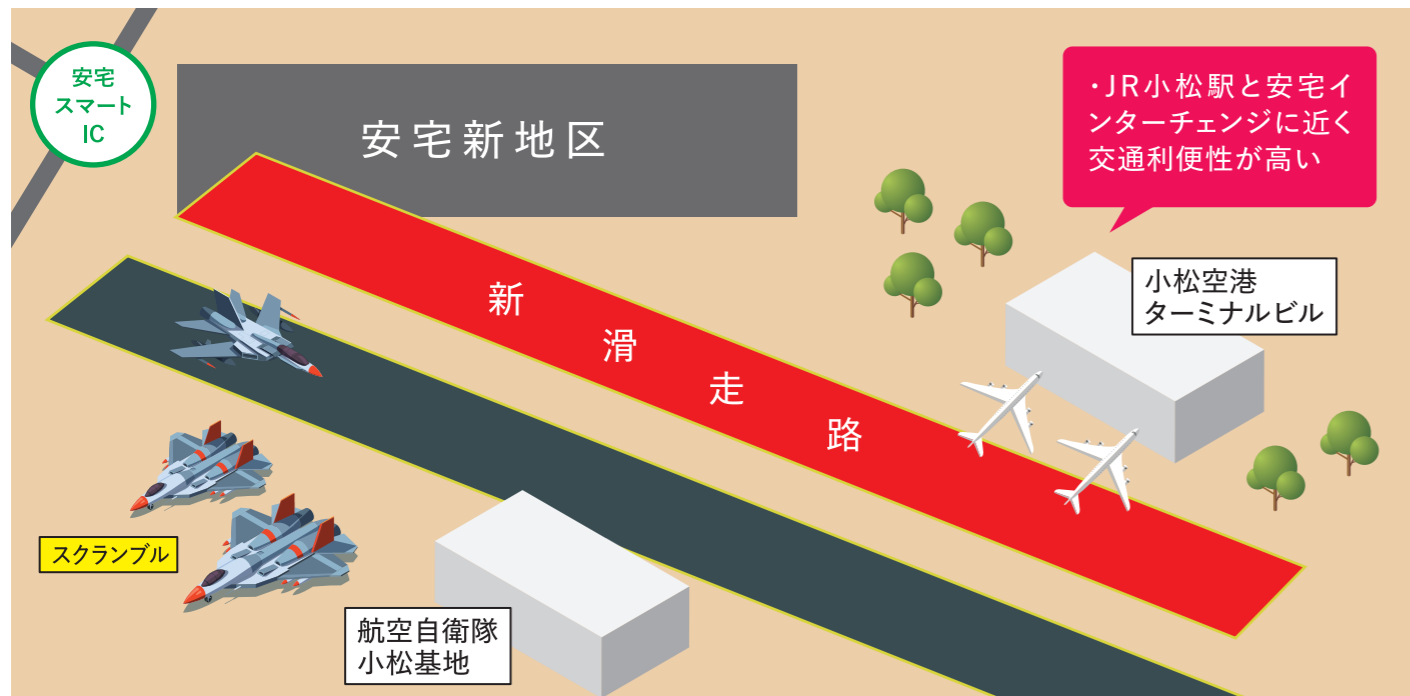
小松空港の新滑走路建設

による

小松空港の民営化

空港周辺未来都市づくり

- 自衛隊・小松基地の有事に備えた機能強化と国際ハブ空港化のために“民航専用”滑走路が必要(騒音対策も講じながら)
- 小松空港周辺(安宅新地区)土地区画整理事業と連携しての北陸の一大拠点づくり



自民党国会議員 — 馳浩27年間の人脈「電話一本でつながります」

機関誌「はせ通信」より



安倍晋三 元総理と



岸田文雄 総理と



松野博一 官房長官と



石破茂 元幹事長と



小泉進次郎 前大臣と



林芳正 大臣と



萩生田光一 大臣と



西村康稔 前大臣と



三原じゅん子 前副大臣と

1 行政のトップとしての手腕はあるの？

- 文部科学大臣として約1年。その他文科副大臣、文科大臣政務官として計3度、文科省の行政トップを務めました。地方創生のトップを走るには、この経験が活きます。文部科学分野には、地方創生に必要な教育（人づくり）、文化、スポーツ、科学技術が入っているからです。
- 大臣時代に文化庁の京都移転を実現。大反対した文科省を説得し、明治政府以来初めての中央省庁の移転にこぎつけました。
- 同時に「国立工芸館」の石川移転を実現。日本海側で初めての国立美術館を誘致。
- その他、党・政調会長筆頭代理として、国政全般を担当しました。

2 国会議員として何をしてくれたの？ ※議員立法を除く

- 小中学生に1人1台端末を配備して、オンライン授業を実現（GIGAスクール構想）。
- 小中学校の空調設備を整備。快適な環境で授業ができることに。
- 35人学級を実現。児童・生徒に教師の目が行き届くことに。
- 幼児教育・保育の無償化を実現。
- 低所得者世帯の学生の高等教育無償化を実現。
- 2020東京オリパラ大会を招致。
- 重度の心身障碍児のための訪問教育を拡充（「高等部」を創設）。
- 金沢港大水深岸壁化。
- 海側環状道路の本車線着工。
- 国道304号の拡幅。
- 無電柱化の促進。

他にも県民の豊かさ、地域経済の発展につながる施策に全力で取り組んできました。



成立させた議員立法一覧(37本)

※議員立法：国会議員自身が法案の内容を決定して成立させた法律。
国会に提出される法案の多くは内閣が内容を決定。

令和3年9月末段階

文教	スポーツ基本法、同法一部改正、スポーツ振興投票法、同法一部改正、オリパラ特措法等一部改正、国民の祝日法一部改正、学校図書館法一部改正、PTA共済法、青少年ネット規制法、海外美術品公開促進法、教育機会確保法、アンチドーピング対策法、日本語教育推進法、違法ダウンロード防止法、いじめ防止対策推進法、著作権法一部改正、大学修学支援法改正、教師性暴力根絶法、五輪選手医薬品持ち込み法
福祉	児童虐待防止法、同法一部改正、児童福祉法一部改正、高齢者虐待防止法、障害者虐待防止法、発達障害者支援法、子ども子育て支援法、子ども子育て関連整備法、認定こども園一部改正、過労死等防止対策推進法、ILO条約105号批准国内法
環境	ダイオキシン対策法、土壌汚染防止法、PCB対策法、放射能汚染がれき処理法、動物愛護法
法務	性同一性障害者特措法、総合法律支援法
未成立だが完成又は提出済み(4本)	共同養育支援法、幼児教育推進法、メディア芸術NC整備運営法、外国人学校支援法
作成中(1本)	LGBT理解増進法

立法を望まれた方々の声



社会的弱者を支え続けた馳先生！

今、全国の自治体で公立夜間中学開設表明が続いています。外国籍の子供たちの日本語教育を公的に行うシステムも整備されました。これらの全てをリードしてきたのは馳先生でした。教育機会確保法、日本語教育推進法は学びを求める全ての人たちの希望となっています。

全国夜間中学研究会
須田登美雄 理事



私の子供がいじめ被害に遭い、その後同じ様な思いをする子供達を守り救う為にNPO法人を設立致しました。馳先生は大変お忙しい中であっても被害者の声に耳を傾け常に温かいお言葉を下さり親子共々、今があるのは馳先生のお陰です。心より感謝申し上げます。

NPO法人プロテクトチルドレン
代表 森田志歩



遺族の悲願であった過労死防止法は、馳浩氏を会長とする議員連盟のご尽力で早期成立した。法律により、政・労・使・民の間に「過労死ゼロ」への意識が高まってきた。石川県でも過労死撲滅のため、お力添え願いたい。

全国過労死を考える家族の会
代表世話人 寺西 笑子

3つを創る

CREATE 01

人を創る人づくり



■ 教育による人づくり ① — 誰1人とり残さない教育 —

政策案 01 ^{ギガ}GIGAスクール構想の推進

1人1台の端末と通信ネットワークを一体的に整備。これによりオンライン学習の実現、個々の学習記録データを活用した教育が実現。

- ICT支援員の増員
- 高校生にも1人1台・1人1IDの配備
- 高校情報科教員の1校1人配置

馳が実現させた
看板政策



政策案 02 コミュニティスクール構想の推進

- 中心組織となる「学校運営協議会」を教委が積極的に設置
- 設立された「学校運営協議会」への積極支援。

コミュニティスクール
地域の声を生かし、地域と
一体となって学校運営をする。

政策案 03 いじめ問題の取組強化

- 第三者いじめ調査委の常設
- 学校端末でのいじめ書込み防止

馳は
いじめ防止法を
作った!

政策案 04 教師の働き方改革・多忙化改善

- 教科担任制
- 中高部活動指導員の増員

政策案 05 学校施設の空調・トイレ整備の充実

政策案 06 少人数(35人)学級の早期実現

政策案 07 キャリアシステムに応じた教育研修の充実

政策案 08 通学路の安全、安心の確保強化

政策案 09

特色ある公立高校づくり

— 未来に輝く高校づくり —

- 情報教育/STEAM(科学・技術・エンジニア・芸術・数学)教育重点校の整備
- 人材面からの支援(外部採用/希望制/校長任期4年超)
- 能登・加賀の高校定員割れ対策



政策案 10

公立高校PBL学習の推進

- PBL(問題解決型)学習の推進(1人1プロジェクト/プログラミング学習の目標)
- 地域が抱える問題解決に寄与

※PBL: Project Based Learning

政策案 11

県立夜間中学の創立

- 不登校生も通える外国人・高齢者等からなる多様性(ごちゃ混ぜ)を育む学びの場

馳が夜間中学・
フリースクールを
設置できる
法律を制定

政策案 12

不登校特例校の推進

- 全国にわずか17校。北陸3県初の設置を
- 不登校児童・生徒に配慮した特別の教育課程で学べる学校
- フリースクール支援

政策案 13

特別支援教育の充実

- いしかわ特別支援学校高等部の新校舎建設
- インクルーシブ(共に受ける)教育の充実

政策案 14

県立国際バカロレア(IB)認定校の設置

- 世界共通の大学入学資格等を与える学校
- グローバル人材の育成

CREATE 01

人を創る人づくり

■ 教育による人づくり ② — 生き抜くための高等・生涯教育の実現 —

政策案
15

高等教育機関・官・民・金融 学術都市構想

- 高等教育機関の地域コンソーシアム
(「大学コンソーシアム石川」をプラットフォームに)
- 10万人規模の学術集積地
- 大学の施設・人材を地域のシンクタンクに提供
- 学生発のベンチャー企業創出
- 企業、学校インターン促進



政策案
16

リカレント教育の推進

- 公立職業訓練校の充実
- 民間専門学校との連携強化
- (人材不足) 資格取得の支援
- IT人材養成の強化

政策案
17

金沢美大を金沢芸大に(県も支援)

- 日本海側初の公立「音楽学部」の創設
- 歌劇座はオペラを含めた「芸術の殿堂」に

政策案
18

奨学金返済支援策の拡充

- 対象者を理系大学院生に加え、学部限定の大学生等まで拡大

政策案
19

教育CIO(最高情報責任者)室の新設 ※CIO: Chief Information Officer

- トップに民間人を起用して、学校内外での情報教育、プログラミング教育の実施

CREATE 01

人を創る人づくり



■ 担い手づくり・人口づくり — 人口減対策は県政最大の課題 —

政策案
20

関係人口(「絆^{きずな}県民」)の増加促進

- 関係人口とは、定住でも交流でもない第三の人口
地域外の人材が地域づくりの担い手となる
地域との一定・多様な関係をもつ人々を創出・拡大していき、将来の定住につなげる構想
いわば住所地・県民ではない絆で結ばれた「絆県民」の創出
- 関わり合いの仕方
農業、文化芸術、スポーツ、福祉、観光などの様々な切り口で、県内全19市町が独自の関係人口の創出拡大事業を展開する
この事業を県が総務省とともに積極的に支援していく

政策案
21

移住公務員(「地域おこし協力隊」)の増加促進

- 移住公務員の任期(1~3年)拡大
- 任期満了後の定住・起業の支援強化

政策案
22

多様性を認め合う寛容な社会づくり

- 性的指向・性自認理解増進条例の制定
- 定住外国人支援(日本語教育等)

政策案
23

クリエイティブ人材の定住促進

- 希望する職住環境の提供など

政策案
24

ワーケーション(働きながら休暇を楽しむ)の推進

政策案
26

企業版ふるさと納税(人材派遣型)の促進

政策案
25

テレワーク移住の推進

- テレワーク従事者に自宅以外の第三の「居住場所・作業スペース」の提供を

CREATE 02

価値を創る価値づくり



DX (デジタルトランスフォーメーション) による価値づくり

— DX <(デジタル化による生活の質の向上(変革)> がなければ、世界の成長・競争からとり残される —

DXが実現しないなら、
2025年以降、最大12兆円/年の経済損失も
2025年の崖

政策案
27

行政のデジタル化 推進

- 行政手続のオンライン化 (マイナンバーカードの普及・電子申請システム基盤整備)
- 情報システム等の共同利用の推進
- AI・ロボットのRPA等による業務効率化の推進
※RPA: Robotic Process Automationの略
- オープンデータの推進 (ベンチャー企業創出)

政策案
28

都市のDX (スマートシティ化) 推進

- 内閣府の「国家戦略特区」を活用
- データ連携基盤整備が都市DXの核
- ビッグデータとAI(人工知能)の活用



住民が抱える社会的課題を解決する



政策案
29

能登DX (デジタル化) 構想

- 国先導によるデータセンターの誘致 (能登中部)
- 能登遠隔医療/自動運転/スマート農業等の実装化
- IT・情報教育充実による人材育成/IT人材の定住促進

岸田内閣「デジタル田園都市国家構想」の実現



データセンター

・電子情報を処理・保存するインターネット用サーバーなどを集めた施設。
・クラウド化などDXが進むと、情報処理量は指数関数的にも増加。そのためデータセンターがさらに必要。

政策案
30

ローカル5GでDXの推進 (ローカル5G基地局の整備)

政策案
31

デジタル産業の創出

[ITメーカー、ソフト開発企業、ITベンダー (販売納入業者)]

5G: 第5世代移動通信システム

高速大容量 低遅延 多端末接続

ローカル5G: 自治体や企業が主体となる特定エリア内の5G

イノベーション (技術革新) による価値づくり

— イノベーションを起こす気風を育て、支援する —

政策案
32

イノベーション社会実装化モデル (実証実験) 事業の誘致

- 国が計画するモデル事業等を積極的に誘致する

政策案
33

新事業・スタートアップ企業の創出/ニッチトップ企業の育成と支援拡充

政策案
34

北陸・石川の成長を支えるものづくり産業の育成・企業誘致

CREATE 02

価値を創る価値づくり

文化による価値づくり — 石川県独自の魅力掘りおこし —

政策案
35

石川・文化芸術創造クラスター構想

- 地域文化資源×創造力（金沢美大・NPO法人等への支援も）
- 広域アートプロジェクト・カルチャーツーリズム創出
〈文化観光振興法に基づく計画策定〉
- 司令塔・アーツコンソーシアム創設

奥能登芸術祭（珠洲市）が
もたらした価値の継承と発展

政策案
36

石川・食文化創造構想

- 「食のおもてなし」事業
（食材・器・料理・室礼・芸能・催事を一体的総合支援）
- 県食文化振興条例の制定



政策案
37

国民文化祭の成功

- 宮内庁・三の丸尚蔵館収蔵品の展示
- 国立工芸館等との連携

政策案
38

観光考古学の推進

- 埋蔵文化財の調査・活用を民間の力で



©石川県観光連盟より

子どもの文化体験事業も!

政策案
39

尊経閣文庫の誘致（知事公舎）と周辺緑地化

- 国立工芸館・県美・21美・能楽堂等の連携
- 国立工芸館の独立（単独独立行政法人化）の提案
- 「兼六園周辺文化の森」地域計画の推進



政策案
40

二の丸御殿整備等（復元文化財の推進）

政策案
41

羽咋・妙成寺国宝化への支援

政策案
42

県内無形文化財を登録文化財に

政策案
43

伝統産業の推進 （若手作家の育成・伝統産業教育の推進・販路開拓支援）

金沢芸妓も

スポーツによる価値づくり

— 党スポーツ立国調査会・馳プランの実践 —

政策案
44

地元プロスポーツ×地域スポーツ連携計画

部活動改革モデル事業も

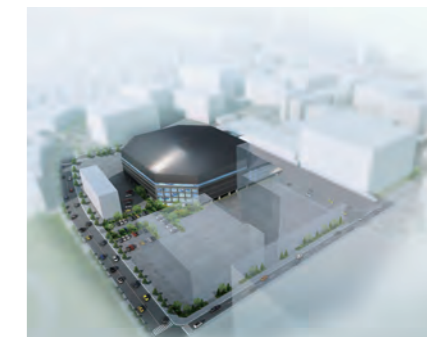
政策案
45

アリーナ建設計画 —アリーナ周辺スポーツ文化まちづくり

政策案
46

障害者スポーツ等の支援強化

- スペシャルオリンピックス、デフリンピックの支援
- 障害者スポーツ団体共同事務所運営の支援
- 特別支援学校でのスポーツ体験
- マイナースポーツの支援強化
- アーバンスポーツ振興（スケートボード・BMX・クライミング・パークール等）



ウェルビーイング

CREATE 03

豊かさを創るwell-beingづくり

■ 個性豊かな地域づくり

— 能登の振興に命を懸ける —



政策案
47

能登振興

- 能登DX (デジタル化) 構想 / 能登DX (デジタル化) 基金の新設
— データセンター誘致、遠隔医療、車の自動運転、スマート農林水産業等の実装化
- 能登振興室、能登振興県民会議の新設
- のと里山空港の利活用拡充 / 七尾港カーボンニュートラルポート構想
- 世界農業遺産の保全・活用 (千里浜再生トキ放鳥事業等) / 世界農業遺産大学の創設
- 売れる・攻めの農林水産業の支援 (ブランド化 / 利用・輸出拡大 / 「6次化」強化)
- のと鉄道活性化 (観光活用路線維持) / 燃料電池車 (FCV) の普及
- 各種ツーリズム支援 (祭り、温泉、医療、スポーツ文化)
- 周産期医療センター整備 (空港周辺)
- 関係人口の拡大、クリエイティブ人材の移住促進
- 大河ドラマ (「義仲と巴」等) の誘致 / 七尾「畠山文化」の再興
- グリーン成長の拠点形成



政策案
48

加賀振興

- 北陸新幹線 (小松駅・加賀温泉駅) 開業効果の波及を支援
- 小松空港 民営化・新滑走路建設と周辺で北陸一大拠点づくり
- 白山総合車両所の見学施設 (ビジターセンター) で賑わい創出
- 新幹線×温泉の観光 (「日本遺産」物語) 事業
- ユネスコの白山・手取川ジオパーク認定の支援 / エコパークの保全・活用
- 白山観光 / 産業観光の推進 — 歴史的・文化的に価値ある工場・機械の観光
- 修学旅行誘致の強化
- イノベーション (技術革新) によるものづくり産業の育成

政策案
49

金沢振興

- 地域公共交通を守るための行政・事業者・利用者による「法定協議会」の設置
- 金沢・交通まちづくり (都心軸新交通システム) の進展支援
- 金沢港カーボンニュートラルポート構想 / 金沢港の賑わい創出
- コロナ下の金沢食文化の維持・発展 (世界VIP「おもてなし」プロジェクト等)
- 金沢都ホテル跡地・日銀 (移転後) 跡地の利活用
- 西部緑地公園整備構想 (県立野球場・「産展」の新整備等)
- 尊経閣文庫の知事公舎誘致と周辺緑地化
- 環状道路を活用した学術都市構想 (10万人規模の学術集積地)

ウェルビーイング

CREATE 03

豊かさを創るwell-beingづくり

暮らし豊かな県土づくり

政策案 50

北陸新幹線の金沢以西（加賀方面）建設促進



- 大阪開業の早期実現
- 開業効果の全県波及

政策案 51

着実なインフラ整備

- 道路・河川・森林・海岸・港湾・空港・公園等の整備計画の遂行

政策案 52

市町のまちづくり支援強化

- 市町の優先的まちづくり政策への支援強化
- (市町共通)DX(デジタル化)によるスマートシティー化
- (市部)「攻め」のコンパクトシティ、(町部)「守り」のコンパクトシティ化

「攻め」は
都市機能の集積で
賑わい再生

「守り」は
行政経費の削減



政策案 53

地域公共交通のSDGs(維持・発展)

上下分離方式をめざします。

- 地域公共交通活性化再生法の「法定協議会」を設置して、交通マスタープラン等の作成

政策案 54

観光エリアでのWi-fiの整備拡大

北陸+岐阜 の 広域連携

- ・小松白川連絡道路
- ・金沢湯涌福光線

政策案 55

行政のトップ同士の定期的交流

政策案 56

広域行政の推進(政策連携協定の締結)

(防災・医療・文化スポーツ交流・地域コミュニティー・修学旅行等)

政策案 57

県際広域道路の整備/広域観光ルートの開発・整備

政策案 58

3空港(小松・のと里山・富山)の価値共創(連携相乗効果)

政策案 59

沿線鉄道の経営課題の検討

実り豊かな農林水産業づくり

政策案 60

売れる・攻めの農水産業の支援

- 農水産品ブランド化
- 海外品種登録の推進
- 輸出拡大
- 「6次化」強化



政策案 61

県産材の利用拡大(木質都市化)/自伐型林業の推進

政策案 62

農林水産業のDX(スマート農林水産業)

自立・自営の林業経営のこと
(週末・仕事の合間に)

政策案 63

水産研究機能の強化(石川県水産総合センター)

やまとたい
日本海・大和堆での
違法操業対策強化を要請

3つを守る

PROTECT 01

命を守る

■ 自然災害から守る県土強靱化

政策案 64 流域治水プロジェクトの推進

- 県内全域15の2級水系での推進
- 河川堆積土砂の除去などの計画的推進
- ミレニアムハザードマップ活用の防災訓練・教育

千年に一度の水害に備える

政策案 65 砂防・地すべり・浸水対策の推進

政策案 66 DX(デジタル化)による安全対策の推進

政策案 67 危険地帯住民の安全確保・転居誘導

政策案 68 防災避難機能兼備の「防災・道の駅」整備

政策案 69 外国人観光客への安全対策の充実(治安・医療支援等)

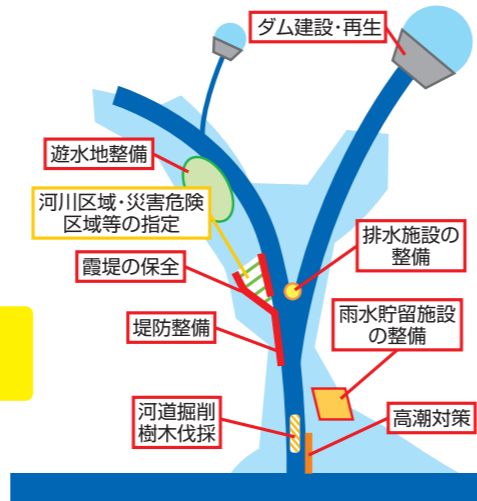
■ 危機管理の強化を図る

政策案 70 自治体警察(交番等も含む)・消防体制の充実と陸自との危機管理連携

政策案 71 オウム真理教対策の強化(国・自治体・住民団体との連携強化)

政策案 72 サイバー犯罪対策の強化

政策案 73 原発の安全確保



- ・ 県消防学校の建替
- ・ 消防局、消防団の支援

■ 新型コロナ感染症から守る(コロナ出口戦略)

— 「第6波」以降に備えて、今度こそ万全の体制を —

政策案 74 感染症有事対応の強化・石川県版CDC(感染症有事の司令塔)創設

- 事前医療連携計画の作成(重症度に応じ病院の役割に合った患者の受け入れ/地域の医療資源を最大限活用した「地域完結型」計画)
- 機動的専門家会議の創設

政策案 75 ワクチン接種の迅速化と拡大(3回目接種、低年齢層)

政策案 76 PCR検査の普及拡大(いつでも どこでも 誰にでも)

政策案 77 医療等従事者への手厚い支援/潜在看護師の復職支援の充実

政策案 78 ワクチン証明書等活用の飲食店・旅行支援/山梨方式の飲食店認定制度

政策案 79 コロナ禍の経済雇用金融支援強化

政策案 80 感染症専門の国立病院設立の政策提言

政策案 81 保健所の負担軽減と機能強化

政策案 82 地域の実態を踏まえた医療体制の充実と地域医療圏の区割りの見直し検討

PROTECT 02 暮らしを守る



■ 子ども・家庭を守る

政策案 83 子育て支援（「ワンオペ育児」ゼロ社会の実現）

- 一時預かり・家事サポート等利用支援
- 男女（特に男性）の育休取得の支援
- 放課後児童クラブの支援拡充

「ワンオペ」とはワンオペレーションの略
夫婦のどちらか1人に育児・家事の
負担がかかっている。

政策案 84 引きこもり支援

- 全世帯対象の「引きこもり対策プラットフォーム」による
アウトリーチ（こちらから手を伸ばす）支援、相談体制の強化
- 多様な就労機会の提供／居場所づくり

・生きづらさを抱える人々に
寄り添いたい！
・党に「ひきこもり支援策」を
提言した。

政策案 85 子どもたちの居場所づくり（子ども食堂も）

政策案 86 母子・父子家庭の自立支援

政策案 87 乳幼児医療費助成事業（県から市町への補助）拡大

- 通院対象を4歳未満から未就学児へ拡大
- 所得制限の撤廃



政策案 88 親子の絆（親子交流）支援

— 離婚・別居で、別居親と交流を絶たれた子どもを救いたい —

- 面会交流支援（優良な民間面会交流支援団体の育成等）
- 養育費支払い支援
- 子どもの意見表明権の保障

・親が離婚した未成年者は
毎年20万人以上！
・面会交流は月1回2時間

政策案 89 児童虐待防止の推進

- 要保護児童対策地域協議会の活性化等

馳が作った議員立法の代表例が
「児童虐待防止法」！

政策案 90 要保護児童の支援

- 里親の拡充・支援（「里親のまち」づくり）
- 児童養護施設に経営支援

政策案 91 高齢者の健康寿命の延伸

- 音楽健康体操の普及（フレイル予防）
- 健康麻将の普及／歩いて暮らせるまちづくり

「フレイル予防」とは、
フレイルとは加齢で運動機能等が低下の状態



PROTECT 02 暮らしを守る

■ 社会・生活を守る



政策案 92 働き方改革

- 同一労働同一賃金／過労死防止等
- AI・ロボットの活用
- ジョブ型雇用／Wワークの支援

馳は「過労死防止法」を作りました。

ジョブ型雇用は、職務内容や勤務地等が固定化されています。

政策案 93 人材（雇用）の流動化支援

- 転職・副業の支援強化
- 民間人材派遣業の活用・支援

政策案 94 職住近接・三世代近同居の誘導

政策案 95 性暴力被害者支援センター （「パープルサポートいしかわ」）の拡充

政策案 96 65歳超雇用の促進

- 70歳定年制の推進
- 再雇用給与増額の誘導

「おばあちゃん」仮説を知っていますか？
人類がなぜ発展したのか？
それは祖母が孫育てをしていた。
つまり三世代同居だったからだ。



PROTECT 03 自然・環境を守る グリーン社会を創る

■ ゼロカーボン（実質CO2排出ゼロ）社会の実現

ーゼロカーボンシティ表明を石川でも（表明していないのはわずか7県）ー

政策案 97 市町内の脱炭素化

- 国の全面支援を受けて地域（市町）脱炭素計画の作成
- ライフスタイルの変容（自転車・公共交通機関の利用・再エネ電力の利用等）
- 燃料電池車（FCV）の普及（能登）

CO2排出の60%が
衣食住のライフスタイルに
起因しています。

政策案 98 カーボンニュートラルポート（港）〈国家事業〉の推進

政策案 99 再生可能エネルギーの実装

金沢港の賑わい創出も

トラブル・災害未然防止条例も

■ 自然・環境の保全と活用

政策案 100 木場潟公園、県森林公園等の整備促進

政策案 101 自然景観・生物多様性等の保全

- 能登・世界農業遺産の保全・活用整備
- 加賀海岸の価値づけ（遺産化）

■ これまで全20冊出版!



感じたら走りだせ (1996)



「古典」簡単じゃないか (1996)



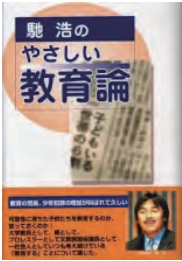
快刀乱筆 (1999)



り・お・ん (2002)



元気の出る日本語 (2002)



馳浩のやさしい教育論 (2003)



ねじれ国会方程式 (2008)



非常ベルは聞こえているか!! (2015)



文科省では定刻になるとチャイムが鳴るって知ってましたか? (2016)



ほんとにもうひとつ多いこの男 (2018)

その他

- 君はまだプロレスを知らない (1994)
- 君は何と闘っているのか (1994)
- 愛する人を守れますか (1995)
- 闘いのゴングが聞こえているか (1998)
- 馳浩の閑楽に源氏物語 (1999)
- 黒幕 (2002)
- 国会赤裸々白書 (2002)
- 森奥の呪縛 (2006)
- 季節感、あふれる情景 白山麗 (2006)
- スポーツフロンティアからのメッセージ (2020)

■ 自民党月刊誌「りぶる」で「川柳」コーナーを担当!



塩まぶす 指ねぶりつつ 銀杏や

熱っちゅ〜と言いながら、塩をまぶして食す銀杏のおいしさよ。冷やおろしがスミます。

2019年11月号

永田町 から金沢へ 秋の空

いろいろありました。ふるさと石川県で新たな挑戦をします。そんな、秋。

2021年9月号

■ わし養子にいくっちゃ!

まだ小学2年生のあどけない男の子が人生の大きな転機を迎えようとしていた。父母は苦悩の表情を浮かべていた。たまりかねたように母親が言った。「浩、どっちでもいいげんぞ…養子が嫌なら行かんでもいいげんぞ!」

だが、少年はなぜか目をキラキラと輝かせ、叫んだ。

「わし行くちゃ! 養子に行くちゃ!」

あとから思えば、この瞬間、富山生まれの少年が金沢の代議士になる道を自分自身で選び取ったのである。

浩は昭和36年5月5日、こどもの日、端午の節句に富山県小矢部市興法寺の農家の三男坊として誕生した。

生家はお世辞にも豊かとは言えなかった。父は農業のかたわら、内職に金沢金箔の箔打ちをしたり、村の瓦工場で働いたりして生計を立てていた。

いよいよ養子に行くという朝も、無邪気にバットを振り回す8歳の浩少年。その姿を見つめる実母の目に涙が光っていた。

「跡取りになれる」と言っても、浩少年が養子に入った金沢の馳家も裕福ではない。果樹園とは名ばかりで、30本ほどの苗木を育てて直売するリンゴ屋さんだった。

父はハンコ彫りの内職をし、母は専売公社に勤めていた。生家と同じ兼業農家だが、違うのはここでは浩少年が1人息子で子供とはいえ貴重な労働力だったことだ。



※「少年はせひろし物語」からの抜粋(全頁ははせ浩ホームページでご覧いただけます。)

はせ浩連合後援会

新会員募集!!

「はせ浩連合後援会」は
馳浩の政治活動を支援する政治団体です。
馳浩の国会議員時代から
活動する団体です。

当会に入会ご希望の方は、下記・後援会事務所まで

「幸福度」日本一へ!!
継承と発展



はせ浩連合後援会事務所
(自民党石川県衆議院支部)

〒920-8203

金沢市鞍月5丁目181番地 AUBEビル5階

Tel.076-239-1919 Fax.076-239-1920

e-mail : hase55@po.incl.ne.jp



ホームページ



Facebook